大仙市立内小友小学校

UCHI レポ

平成30年度　成果報告書

H30　Report of results

にこにこ　きらきら　ゆめにむかって

～みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力～

中期目標（平成29・30年度）

「あい」ある学校　～認め合い，話し合い，学び合い，高め合い～

平成30年度学校経営の重点

○思いやりの心・豊かな人間性の育成

○たくましく生きる心と体の育成

○主体的・対話的な学習をとおした確かな学力の向上

内小友小学校は「たのしい学校」づくりを進めています！

「た」 高め合う教師がいる学校

「の」 伸びようとする子どもがいる学校

「し」 信頼される学校

「い」 生きる力を育む学校

○授業研究会　～「主体的，対話的で深い学び」の実現～

1年　国語

2年　生活科

3年　道徳

4年　外国語活動

5年　国語

6年　図工（全国造形研）

○みんなでつくる学校　～思いやりの心・豊かな人間性・たくましく生きる心と体の育成～

なかよし縦割り班活動

ポケットさん読み聞かせ

全校田植え

ハローの会

PTA空き缶回収

人権の花植え

マラソン大会

地区民運動会

全校稲刈り

収穫感謝祭

そば打ち体験

スケート教室

平成30年度　内小友小学校重点課題達成状況

	到達目標（今年）	具 体 的 施 策	到達指標	到 達 状 況
思いやりの心、豊かな人間性の育成	集団の一員としての自覚をもたせ，自他のよさを活かす認め合う活動の充実	・縦割り班で行う行事での「めあてカード」の導入 ・縦割り班担当と学担が連携した認め合い活動 ・学級や行事の中での「認め合いの場」の設定 ・大曲支援学校との交流の充実（ハローの会）	・「行事にめあてをもって参加」3.6以上 ・「自分のよさや友達のよさを見つけている」3.6以上	A ・「行事にめあてをもって参加」3.6 ・「自分のよさや友達のよさを見つけている」3.8
	読書活動の推進	・本貯金ファイルを活用した読書の記録 ・年間多読賞の表彰 ・昼読書での物語本読書の励行 ・ぽけっとさんによる読み聞かせや交流	・全校児童総読書冊数7000冊以上 ・「読書に親しんでいる」3.6以上	A ・全校児童総読書冊数 8,100冊達成（2/27現在） ・「読書に親しんでいる」3.6
	ふるさとのよさを伝える活動の充実	・ふるさとのよさを伝える観点からの行事内容の見直し ・市ふるさと博士への積極的な参加	・「内小友のよさを感じている」3.6以上	A ・「内小友のよさを感じている]3.8
たくましく生きる心と体の育成	あいさつの励行	・児童会によるあいさつ名人の選出 ・あいさつ集会の実施 ・あさがお運動の推進（小中連携）	・「元気なあいさつをした」3.6以上 ・保護者アンケート3.5以上	B 児童3.6→3.7 保護者3.3→3.4 小中連携あいさつ運動を2回実施。1回目より2回目がよくなった。
	体力づくりの習慣化	・業間運動（マラソン・ラダー・縄跳び）の継続 ・児童会による外遊びの励行 ・栄養士さんによる食育指導（全学級）	・マラソン年間目標達成 70%以上	A 1年71%　2年93% 3年71%　4年80% 5年90%　6年100%
	毎日元気に登校する児童の育成	・健康貯金の継続 ・月の重点事項の周知徹底（内小ファイト） ・個人面談を活用した不登校の早期発見と早期対応	・全校欠席０の日年間70日以上	A 全校欠席０「89日」(2/28現在) 昨年度より30日程上回っている。
主体的・対話的な学習をとおした確かな学力の向上	児童の意欲を高める授業を支える学習環境づくり	・1時間のゴールや児童の考え方が視覚化された板書 ・ポイントを押さえ，児童が活用できる学習コーナーの設置 ・図書館と連携し，授業内容に合わせた図書コーナーの設置	・「取り組むことや勉強したことが分かる」75%以上	A ・「取り組むことや勉強したことが分かる」97%
	基礎学力の向上	・チャレンジテストに向けたプリント学習の実施 ・家庭学習コーナー活用（よりよい学習内容の提案と指導）	・合格者率80%以上	A ・合格者率84%
	話したい・聴きたいという思いをもって，主体的に話し合おうとする意欲を高める授業づくり	・児童自ら考え話し合うことができる学習課題の提示 ・ねらいにつながる話し合い活動の意識的な位置付け ・学年に応じた聴き方，話し方の指導	・「進んで課題に取り組む」50%以上 ・「自分の言葉で話す」「友達の考えを分かろうとして聞く」80% ・教師アンケート平均2.8以上	B ・「進んで課題に取り組む」93% ・「自分の言葉で話す」「友達の考えを分かろうとして聞く」95% ・教師アンケート2.65

平成30年度秋田県学力・学習状況調査から見えた成果と課題

・実感を伴った理解に弱さあり！（算数）

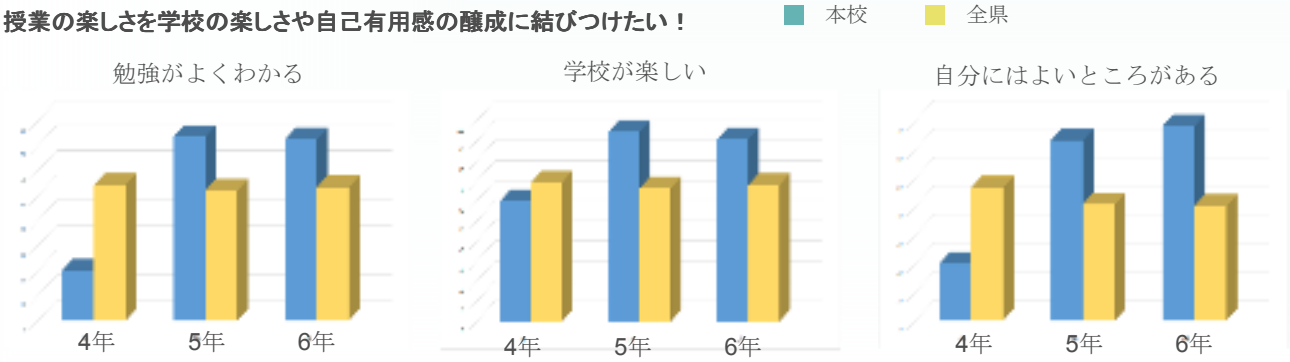
４年	国語	算数	理科
本　　校	66.7	64	85
全　　県	67.9	68.8	80.8
県との差	-1.2	-4.8	4.2

５年	国語	社会	算数	理科
本　　校	67.4	80.3	72.6	80.5
全　　県	67.4	70.5	69.8	77.1
県との差	0	9.8	2.8	3.4

６年	国語	社会	算数	理科
本　　校	74.8	66.6	61.1	80.5
全　　県	71.7	69.1	64.9	78.1
県との差	3.1	-2.5	-3.8	2.4

４年の国語と算数，６年の社会と算数で県平均を下回りました。特に算数で県との差が大きいようです。算数で通過率の悪かった問題を各学年ごとに見てみると次のような問題に弱さがありました。４年生では，物の重さを量るときに適切な計器を選択する問題や入れ物に入った物の重さを求める問題，５年生では，生活の中での比例するものを選ぶ問題や「40÷0.8」という式で解ける問題の選択，小数の仕組みについての問題，６年生では，速さの意味，立体の展開図や円周と直径の関係，割合で必要な情報を読み取り数学的に説明する問題，等々です。これらの問題の多くは，普段の授業や生活体験の中で算数的な経験を多く積み重ねていれば解ける問題です。つまり，算数を生活の中で使うことでより確かな理解へとつなげたり，実際に作ったり計ったりしながら理解することを授業の中でもっと多く経験させる必要がありそうです。「体験させ，実感させながら算数的な理解へと導くためには授業をどう構成すれば効果的か」，これが今後の課題です。

・授業の楽しさを学校の楽しさや自己有用感の醸成に結びつけたい！



質問紙の調査での上記三つの項目で「あてはまる」と答えた児童の割合を表したグラフです。「勉強がよくわかる」「学校が楽しい」「自分にはよいところがある」には正の相関関係があることが分かります。話合いが深い学びにつながれば，子どもは授業を楽しいと感じます。そして，授業が楽しければ学校が楽しいと感じるでしょう。教えられるのではなく，自分たちの力で解決できれば，自分もできると思え，自分のよさや友達のよさを認め合い自己有用感が醸成されていきます。全ては授業にあるということを自覚し，話合いが深い学びにつながるよう今後も授業改善に努めてまいります。

大仙市立内小友小学校

〒014-0073
大仙市内小友字四ツ村35番地

電話: 0187-68-2345
FAX: 0187-86-4041
電子メール:
om-uchisyo@edu.city.daisen.akita.jp

がんばっています！「みんなの目標」

1　声を出そう

「あいさつ」→小中「あさがお」運動でがんばっています。

「返事」→大きな声ではっきりした返事は内小の伝統です。

「歌声」→正しい発声法で，のびやかに歌えるようがんばっています。

2　しっかり話そう　しっかり聴こう

「話し方名人かきくけこ」「聴き方名人あいうえお」を各学級で活用しました。話す人の方を向いて聴くことができています。「うなずきながら」「えがおで」聴くことは，相手を大切にすることにつながります。

3　たくさん本を読もう（全校7000冊）

全校児童総読書冊数8,100冊達成！たくさん本を読んだ人を表彰する予定です。家庭でも親子一緒に読書に取り組んでみてはどうでしょうか。

4　全校欠席0（年間70日）

目標をクリア！現在89日（2月28日現在）

※昨年度よりも30日程上回っています。